

記入例

令和 3 年 月 日

独立行政法人日本学生支援機構

理事長 吉岡 知哉 殿

学校名 **市ヶ谷大学**

学長 **〇 〇 〇 〇**

新型コロナウイルス感染症対策助成金 交付申請書

新型コロナウイルス感染症対策助成金として下記金額を交付するよう別紙「新型コロナウイルス感染症対策助成事業（「食」・「住」に対する支援）事業計画書」を添えて申請します。

記

1. 助成金交付申請額 **600,000** 円

2. 添付書類 **事業計画書**

以上

[連絡先]

担当部署名	学生部 学生支援課		
所在地	〒123-4567 東京都〇〇市〇〇町 1-2		
担当者名	〇〇 〇〇		
電話番号	012-345-6789	FAX番号	012-345-9876
E-mail	abcdefg@ichigaya-u.ac.jp		

[振込先口座]

金融機関名※	〇〇〇〇銀行	金融機関コード	1	2	3	4	
支店名※	〇〇支店	支店番号	0	1	2		
普通預金口座番号	1	2	3	4	5	6	7
口座名義	学校法人 市ヶ谷大学						
(カナ)	ガッコウハウジン イチガヤダイガク						

※ 海外にある金融機関等は指定できません。

新型コロナウイルス感染症対策助成事業（「食」・「住」に対する支援） 事業計画書

1. 学校名等

学校名：市ヶ谷大学

学校番号：123456

2. 学生等への支援の内容及び対面授業の実施状況（該当項目の口を■に置き換えてください）

■「食」に対する支援

(1) 対面授業の実施状況（①～②のどちらかに■）

① 既に対面授業を中心としている

② 今後対面授業約7割以上を目指している

(2) 感染防止の取組（該当する場合は■）

感染防止をしながらの対面授業再開に資する取組を行っている

■「住」に対する支援

(1) 対面授業の実施状況（①～②どちらかに■）

① 既に対面授業を中心としている ←原則、助成の対象外となります

② 今後対面授業約7割以上を目指している

(2) 感染防止の取組（該当する場合は■）

感染防止をしながらの対面授業再開に資する取組を行っている

※ いずれの場合も、助成の要件に当てはまらないけれど、特段の事情があるなどの際は、御相談ください。

3. 事業の概要

・「食」に対する支援

① 支援内容

(a) 学生食堂の食券（5千円／1人）を支給

(b) カップラーメン、レトルト食品、米、野菜等の現物支給

② 支援対象

本学が面談を経た上で、経済的に困窮していると認めた者

・「住」に対する支援

① 支援内容

・経済的に困窮していると認めた者・・・1万円／人

・特に経済的に困窮していると認めた者・・・2万円／人

② 支援対象

本学が面談を経た上で、経済的に困窮していると認めた者

4. 事業費

(1) 支援事業全体の事業費総額及び支援対象者数

支援内容	支援対象者数	事業費
「食」に対する支援	100人	1,000,000円
「住」に対する支援	15人	200,000円
合計	(延べ) 115人	1,200,000円

(2) 助成金交付申請額

600,000円

※ (1) の合計額の 1/2 以内となります。

※ 円未満切り捨て。